



《発行所》
若葉台
第一住宅管理組合
坂内市千代田4丁目7番30号
電話 049-283-7950
メール kanri@wakaba1.com
http://www.wakaba1.com/

- 1 面 団地の少子高齢化と明るく向き合おう
- 2・3 面 一人で悩まず私たちに声をかけてください
- 4 面 わかば歳時写 2010「行合」を偲ぶ

「少子高齢化」という現象を、ことさらにネガティブに取り上げる報道が多すぎます。私たちはもっと明るく団地の少子高齢化に向き合ってみませんか。新しい団地の光景や雰囲気生まれるかもしれません。

**児童の列が
続いた時代も**

「登校する時の子どもたちの声が今年からにぎやかになりました。毎朝その声を聞くとホッとします」

今年の春、私たちの団地から9人の新入生が南小学校に入学しました。昨年はわずか3人だったのです。

「去年は悲しんで、今年には喜びました」

民生委員と主任児童委員の方々が、新入生が増えて嬉しい心の内をそう語ってくれました。かつて団地から学校まで子どもたちの列が続いた登校風景が、嘘のようです。

変わったのは登校風景だけではありません。団地の入居者事情も大きく変化しています。成長した子どもは独立して団地を去り、中高年の夫婦だけの所帯や一人暮らしの所帯が多くなり、入居者の高齢化が急速に進んでいます。

そうした変化に見合う団地の住まい方を、みんな考えてみようというのが今回の編集企画です。

**「ボクが
「ミ」を出すよ」**

働き盛りのときの団地は、家族との団欒や休日の安息の場所で、コミュニケーションの中心は仕

事の世界や職場の人間関係にありました。そのころは積極的なつきあひも少なく、できる限りプライベートを守るのが、

想で団地の生活を考えてみるのです。団地の階段で中学生の男の子が元気に駆け上がり、高齢者の住んでいる

くるかもしれません。団地の人たちがいつも「こんにちは」と挨拶を交わすことから始めてみませんか。

子どもも大人もニコニコ



集合住宅の賢い住まい方だとする風潮がありました。時代にあったライフスタイルだったので。

でも、高齢化が進行する地域社会においては、住民同士の信頼や交流が、高齢者の不安の軽減や心強さを支える大きな要素となります。「少子高齢化」を前提にした団地の住まい方や、居住者同士の支え合いや親交が大切になってきます。

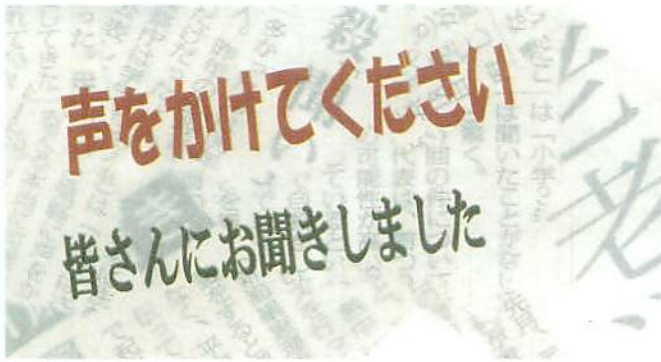


「少子高齢化」を暗く考えずに、地域の新しい親近感や連帯感を生み出せるプラス要因と捉えてみてはどうでしょう。これまでとは違う視点と発

家のドアをノックして、「おはあちゃん、ボクがゴミを出してやるよ」と声をかけています。そんな光景を見られる日が

リし合い、心がなごんで豊かになれる若葉台団地の地域文化、地域社会を創り出せたら、とても素敵だと思っの味です。

文字摺草
全国各地の神様が出雲大社に集まる神無月の10月は、どの地域にも神様が居なくなりません。でも出雲の国に行かず留守番をしてくれる福神様がいます。「えびす様」です。▼本のページの隅が内側に折れたまま裁断されて本を開くと飛び出す部分を「福紙」と呼びます。旅立たずに「立ち残った神」と、裁断ミスで「残った紙」をかけて、「福神」を「福紙」とシヤレたのです。粋な遊び心ですね▼えびす様は釣り上げた赤い真鯛を抱えています。ところがえびす様の持っている釣竿では黒鯛は釣れても、真鯛は釣れないと見破った人がいます。釣師としても知られた作家の幸田露伴です。最初にえびす様を描いた絵師が、釣竿の知識に乏しかったのでしょうか▼10月半ばが過ぎました。神様たちはそろそろ地元への帰り支度を始める頃かも知れません。夜には霜月の足音がします。寒がりですが神無月より霜月が好きです。酒の味が旨くなるからです。



実施され、回収率は73%でした。その世帯主の年齢構成以上が61%を占めており、少子高齢化が進んでいる居す。今回は団地居住者と行政のパイプ役としてお世話員の4人の方にお話しをお聞きしました。

「本日はお忙しい中、お時間をとって集まっていたいただきありがとうございます。少子高齢化を前向きに考えていくきっかけとして、皆さんの日頃の活動についてお伺い出来たらと思います。個人情報との関係で大変なことも多いのではないのでしょうか。」

「市の方から届いている居住者カードを頼りに、70歳以上の1人暮らしの方のお住まいを家庭訪問して現状の把握をすることにしています。ただ居住者カードは平成15年に作られたものでその後更新されていません。引越しをされた方やお亡くなりになった方、新しく増えた方も含まれていないので、新たな把握ができていないことを問題にしています。民生委員は何をしていたのかという言われ方をしている地域もあります。」

「もう少しお話をいただけませんか。」

「居住者カードの提出が任意であるというのも正確な把握ができない要因ですが、個人の力だけでは限界があります。市側の協力がもう少しほしいですね。」

「防災の件で1戸1戸回ったのですが、留守宅が多かったです。」

「0歳から18歳の児童を対象に相談支援活動をしています。地域は南小学校、千代田小学校、千代田中学校、坂戸小学校、坂戸中学校の5校を担当しています。他の地域のお母さんからいじめの問題で相談を受け、その地域の委員と相談をして学校の方にお願ひすることもあります。坂戸中学校と千代田中学校はさわやか相談室があり、専門の先生が配置されているのですが、そこに行けない生徒さんもいるので先生の指導を受けながらやっ



中祖幸子さん

多かったです。ドアを開けてくれなかったりで結果的に7年前の居住者カードのままです。民生委員としては心に掛けています。」

「今年は団地の自治会長さんと理事長さんとの意見交換の場がもたれ、今までと少しは違っていた方向になってきたように思います。」

「主任児童委員の場合はどうでしょうか。」

「全戸に配布するほどではないのです。住民の目に触れるような場において気軽に活用できるようになればいいですが、何かあればほとんど役所の方から担当区域の私たちに連絡が入り向うというのが実態です。でもすぐ近



高田恵子さん

「児童委員の支援活動についてももう少しお話しただけですか。」

「ほとんど学校から連絡が入るのですが、その時は夕方の6時から8時ぐらいの間にお宅訪問をすることにしています。でも留守の家が多く、メッセージカードを入れて連絡を待つというのが普通です。」

「せっかく坂戸市で取り組んでいるながら、意外にカードのことを知らない人が多いのです。情報が漏れることにプライバシーの侵害を言ってくる方もいます。」

「なぜカードの存在を知らない方がいるのか。」

「少子高齢化」は私たちの団地だけでなく、各地域に共通した現象です。少子高齢化に地域住民はどう対処したらいいのか、他の地域はどのように取り組んでいるのかなどについて、坂戸市福祉部福祉総務課にお話をうかがいました。

行政からのアドバイス

「できる事」を「できる人たち」で

少子高齢化だけでなく地域社会はさまざまな問題に直面しており、地域住民同士のコミュニケーションを、いかに深めていくかが非常に大切になっています。でも地域によって環境や要素が異なりますから、取り組みや活動内容も地域ごとに違ってきます。

坂戸市福祉計画の地区別懇談会の意見交換などを参考にした感想ですが、定住者の多い地区ほど親密な地域社会が形成されやすい印象があります。子どもを対象にした行事をよく行うことで地域の人たちの親近感を作っている地区もあります。子どもさんには両親やお祖父ちゃん、お祖母ちゃんも一緒にいてきます。小さな子どもを中心に住民の輪が広がり、世代を超えたコミュニケーションがとれます。

「良好な地域社会の形成」といった抽象的な言葉や表現にとらわれずに、「できる事から始めてみる」「できる人たちがやってみる」の視点に立つてみるのがいいと思います。行政側は、地域住民の自主性を支援するのが基本になっていくので、住民の声や地域の情報を、民生委員や主任児童委員を通じて行政に伝えてもらえれば、行政支援がぐんぐんやりやすくなります。

高齢者も積極的に地域の集まりに参加することが大事です。災害時に在宅の介護老人のもとに真っ先に駆けつける人を決めている地区があり、隣人同士の連帯や信頼を高めています。

行政側の助成や事業は、地域住民の自主性を支援するのが基本になっていくので、住民の声や地域の情報を、民生委員や主任児童委員を通じて行政に伝えてもらえれば、行政支援がぐんぐんやりやすくなります。

(談)

一人で悩まず 私たちに 民生委員 主任児童委員の

昨年大規模修繕を控え全戸を対象にアンケートが実は、60歳代が43%、70歳代が17%、合わせると60歳住者像がわかり今後の団地のあり方を示唆していただき、ご苦勞されている民生委員と主任児童委員

「役所には心配ごと相談という窓口があるからだとおもいます」
それは民生委員や主任児童委員の役割や存在

Q 民生委員と主任児童委員は、「住民の立場に立った地域福祉の担い手」と呼ばれています。その役割と仕事はどのようなものなのでしょう。

A 「民生委員」は、高齢者、障害者、母子家庭など支援、保護を必要としている人の相談に応じ、行政の支援制度を説明したり、当事者や家族と一緒に市役所、福祉機関の担

民生委員 主任児童委員 こんなに大切な役割

話を聞き、適切な助言や援助を行い、ときにはヘルパーの代わりにすることもあります。
「主任児童委員」は、地域の0歳児から18

いじめ、不登校、非行などの悩みを抱える人や家庭の相談にのり、行政の福祉機関や教育機関と連携しながら、問題の改善、解決に取

り組んでいます。
民生委員も主任児童委員も国の法律で定められた重要な役職です。でも報酬も権限もなく委員の献身的なボランティア活動に委ねられているのが実情です。ですから地域の人たちの理解と協力が、民生委員主任児童委員にとって最大の支えとなります。そして委員の方々への協力や感謝の心が、地域の連帯感、信頼感につながるはず。



羽磨千賀子さん

「役所には心配ごと相談という窓口があるからだとおもいます」
それは民生委員や主任児童委員の役割や存在

「公民館や地域に参加している人もいますし、そのような場に参加できない人はデイサービスに行っています。だから訪問し



加藤伊津子さん

「あとも通学の時なんかもベランダから見えてしまいます」
高齢者の場合はすみれ会があるので、率先し

「団地の手抜き除草や芝刈りなどはとても良いチャンスだと思います。歳をとっているから参加しないということではなく、出来る仕事をするという心で参加していただきたいですね。棟長さんと呼ばれる方を呼ぶかけをしたらいいと思います。そうすること

「私の棟は家庭菜園で作ったお野菜を分け合ったり、自分の所で使わなくなったものや、プレゼントしたりして交流



民生委員は児童委員をかかえています

「棟会議も棟によって違っているようですが、芝刈りの後だけでなく、じっくり話せるような場を作っている棟があることを聞いています。お隣さん同士や新しい入居者の

「今年の夏は暑かったのが気になっていたので、お礼の電話をもらい嬉しかった」
「不登校だった子があ

民生委員・主任児童委員のお名前と担当している区域

お名前	棟室	電話番号	担当区域	受持ち戸数
羽磨千賀子さん	9-501	282-0416	1~12、31~34号棟	301
中祖幸子さん	16-301	284-2330	20~25、27~29、35号棟	294
加藤伊津子さん	26-801	284-5245	13~19、26号棟	294
高田恵子さん	24-401	284-5422	南小、千代田小、坂戸小 千代田中、坂戸中	

「今年のお話は、お礼の電話をもらい嬉しかった」
「不登校だった子があ

「今年のお話は、お礼の電話をもらい嬉しかった」
「不登校だった子があ

「今年のお話は、お礼の電話をもらい嬉しかった」
「不登校だった子があ

「今年のお話は、お礼の電話をもらい嬉しかった」
「不登校だった子があ

「今年のお話は、お礼の電話をもらい嬉しかった」
「不登校だった子があ



わかば歳時写2010 「行合」を偲ぶ

ゆき あい

今日の
主役は
私たち



上映を待つ子どもたち



「ありがとう」の一声

おっ、すげー！



交流の輪が広がる

夏から秋への移り変わりの頃は「行合」（ゆきあい）と呼ばれ、行き合うことを意味します。人びとの行合を夏の催し会場でスナップしました。

お花つくって



ママ かえろうヨ



スタップも拍手喝さい



編集後記

今号を編集しながら2年前を思い出しました。その日、突然上の階の方から粗大ごみを出したいので名前を貸してほしいと言われました。引越越しをするとのことでした。入居されてからまだ日も浅くびっくりしました。芝刈りや外でお会いした時に挨拶をする程度でしたから。今日で最後と言う日に勇気を出してお部屋を訪ねました。夫が長患いの末先立たれたこと子どもさんにも同居を申し入れたが断られたが断られた住みなれた一戸建ての家を整理し、この団地に来たことを話されました。でも、新しい所ではお友達もなかなか出来ないし、棟長など役員のことを考えると、不安ばかりが大きくホームに申し込んだと言います。ところが思ったより順番が早くなり急ぎよ入居することになったのです。お互いにもっと早くお話しすれば良かったと残念がありました。その後お手紙のやり取りで、お元気な様子がわかり、少しだけ救われています。

(佐藤公子)